

JAGUAR

tcs

RACING

2023年3月6日

ジャガーTCSレーシング、フォーミュラE世界選手権シーズン9
第5戦ケープタウン・グランプリ
「I-TYPE 6」の速さを示しつつも、ポイント獲得ならず



- 南アフリカ・ケープタウンで開催された ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 9 第 5 戦で、ミッチ・エバンスは 4 番グリッドからスタートするも 11 位でフィニッシュし、ポイント獲得ならず
- サム・バードはクオリファイ・セッションのクラッシュにより、決勝レースを欠場
- カスタマーチームであるエンヴィジョン・レーシングは 2 台ともトップ 5 入りを果たす
- ジャガーTCS レーシングはチーム・ランキング 6 位、ドライバーズ・ランキングはサム・バードが 8 位、ミッチ・エバンスが 12 位
- 第 6 戦は 2023 年 3 月 25 日(現地時間)にブラジル・サンパウロにて初開催

2023年2月25日南アフリカケープタウン発：大混戦となった ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 9 の南アフリカ・ケープタウン・グランプリにおいて、ジャガーTCS レーシングのミッチ・エバンスは 11 位となり、残念ながらポイントの獲得はなりませんでした。

ジャガーTCS レーシングチームはすべてのプラクティス・セッションにおいて「I-TYPE 6」の効率性の高さを証明しました。ミッチはデュエルで準決勝まで勝ち進み、4 番グリッドからのスタートとなります。スタートからポジションをキープし続けたミッチは「I-TYPE 6」でリズムをつかみ、チームはエネルギー・マネジメントに優れた戦略をとりますが、11 周目にスタート時のオーバーパワーによるドライブスルーペナルティが課され、最後尾からレースに復帰することになります。先行するライバルを猛追し、28 周目にセルジオ・セッテ・カマラ(NIO333 レーシング)をオーバーテイクし、12 位に浮上、さらに最終ラップでサッシャ・フェネトラズ(NISSAN)がクラッシュしたことにより、11 位になり、そのままレースを終えました。

JAGUAR

tcs

RACING

サム・バードはクオリファイ・セッションでのアクシデントにより、決勝レースに出場することができませんでした。最後のフライングラップで前方にいたエドアルド・モルタラ(マセラティ MSG レーシング)に接触したため、減速しようとしたところでバリアにクラッシュしてしまいます。これによりサムの「I-TYPE 6」はシャシーの交換が必要となりましたが、決勝レースまでに作業を完了させるだけの十分な時間はありませんでした。

パワートレイン技術を提供しているカスタマーチームであるエンヴィジョン・レーシングの 2 台はともにトップ5入りを果たしました。ニック・キャシディは「I-TYPE 6」のスピードと効率性の高さを証明し、2 度目の表彰台を獲得しました。

ドライバーズ・ランキングでは現在、サムは 8 位、ミッチは 12 位を維持しています。チーム・ランキングでは 6 位につけ、2023 年 3 月 25 日に開催される ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 9 第 6 戦、ブラジル・サンパウロ・グランプリに挑みます。

ジャガーTCS レーシングのチーム・プリンシパルであるジェームズ・バークレーのコメント:

「ケープタウンでも非常にフラストレーションのたまる 1 日となりました。『I-TYPE 6』は週末を通じて好調で、ミッチは 4 位につけていましたし、レース終盤に向けてペースも管理もできていました。ミッチがなぜパワーを使いすぎたのか検証する必要があります。一方、サムの欠場は本当に残念でした。サムはいい走りをしていましたし、マシンも速かったのでアクシデントは避けられたはずですが、レースに参戦している中で我々は学び、改善しなくてはなりません。チームとしてはこれまでガレージからマシンを出し、レースに出場するためにすべてを捧げてきましたが、マシンのダメージが大きくそれが不可能でした。我々は素晴らしいチームであり、信じられないほど速いレースカーがあるので、勝利を目指してたゆまぬ努力を続けます。」

ドライバー、ミッチ・エバンス(#9)のコメント:

「今日のレースはインドでのレースに続き、またしても残念な結果となりました。我々には信じられないほど速い『I-TYPE 6』がありますが、それにふさわしいポイントを獲得することができませんでした。サンパウロでもう一度がんばります。」

ドライバー、サム・バード(#10)のコメント:

「自分ではコントロールできないことが要因で、台無しにしてしまって本当に悔しいです。予選でタイムリーな赤旗が出るべきだったのに、そうではなかったのが残念です。良いニュースは『I-TYPE 6』は本当に速いということです。週末を通じて我々の成績がそれを証明しています。」

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2023 年 2 月 25 日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

以上

エディターズ・ノート

ジャガーTCS レーシングについて

ジャガーは 2016 年 10 月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 8 では、ミッチ・エバンスはドライバーズ・ランキングで 2 位となり、ジャガーTCS レーシングのフォーミュラ E 史上において最も成功した成績を収めました。

JAGUAR



RACING

フォーミュラ E は、2025 年からピュア EV のラグジュアリー・ブランドとなることを目指すジャガーの現実世界におけるテストベッドです。ジャガーTCSレーシングの目標は、「Reimagine Racing (レースの再構築)」であり、テスト、開発、学習、協力、共有を行い、ジャガー・ランドローバー全体へ知見を共有することで、将来の市販車開発に役立てることで。特に、フォーミュラ E で培った知見と技術の移転は、ジャガーブランドの再構築に役立ち、フォーミュラ E Gen3 時代へのコミットメントと合致します。

2023 年は、世界初のネット・ゼロ・レースカーである Gen3 マシンで各チームがレースに臨む最初の年になります。

フォーミュラ E の公式マニュファクチャラー・チームとして、ジャガーTCSレーシングは、モーター、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。ジャガーは、フォーミュラ E の長期的な技術パートナーであるウィリアムズ・アドバンスド・エンジニアリングを通じてエンヴィジョン・レーシングに「Gen3」のパワートレインを供給しています。

コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 11 チーム共通となっています。これにより、効率的で軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバーのフルバッテリー電気自動車(BEV)のパフォーマンスと航続距離の向上につながります。

各チームは、ドライバー1 人につき 1 台、計 2 台のレースカーを用意し、レース距離の全工程で使用します。

フォーミュラ E は、フルバッテリー電気自動車(BEV)によるレースというコンセプトに加え、モータースポーツの世界においては開催地の選定もユニークです。ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 9 ではメキシコシティ、ディルレイヤ、ローマなどの世界的大都市を舞台に、特設の公道サーキットで開催され、ハイデラバード、ケープタウン、サンパウロなどの新たな開催地を転戦した後、ロンドンで週末に行われるダブルヘッダーレースで最終戦を迎える予定です。

昨シーズン、ジャガーTCSレーシングは7回の表彰台、4回の優勝、1回のポールポジション、1回のファステットラップ、231ポイントの獲得でチーム・ランキング4位となり、過去最高のポイント獲得数を記録しました。ドライバーズ・ランキングではミッチ・エバンスが2位で終え、サム・バードが13位となっています。

フォーミュラ E 世界選手権への参戦は引き続き、ジャガー・ランドローバーのグローバル戦略「REIMAGINE」の実現に向けた最重要事項です。電気自動車による唯一のチャンピオンシップであるフォーミュラ E 世界選手権を通して、ジャガーはハイパフォーマンスが求められる環境で新たな電気自動車テクノロジーをテストし、開発しています。レースは、「Race to Innovate (イノベーションのためのレーシング)」をブランドミッションに掲げるジャガーにとってテストベッドであり続け、電動化の未来を形作るために、レースで得た知識や経験を市販車へ(Race to Road)、そして市販車からレースへ(Road to Race)と相互に役立てることができます。それこそがジャガーが情熱を傾けて目指している未来であり、社会貢献、モビリティの変容、持続可能性、そしてお客様のためにその実現に懸命に取り組んでいます。

JAGUAR



RACING

ジャガーTCSレーシングは、「Race to Inspire」というミッションのもと、レースプログラムを通じて地球や地域社会にポジティブな影響を与えることで、未来の世代にインスピレーションを与えることを使命としています。世界初のネットカーボンレースカーでの競争から、次世代のエンジニアやモータースポーツの専門家のサポートやトレーニングまで、さまざまな活動を行っています。詳細については、www.jaguar.com をご覧ください。

JAGUAR PR social channels:

- JAGUAR ウェブサイト: <http://www.jaguar.co.jp>
- Facebook: <https://www.facebook.com/JaguarJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/JaguarJPN>, @JaguarJPN
- Instagram: <http://www.instagram.com/jaguarjapan>
- YouTube: <https://www.youtube.com/jaguarchanneljp>

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689(9:00~18:00、土日祝日を除く)